

# ～従業員の健康情報のセキュアな管理と活用を実現する高次HRMシステムの研究開発～

委託先：(株)サイエンティア

研究代表者：板橋 吾一

研究期間：平成18年9月～平成20年3月

主な研究実施場所：宮城県仙台市

**研究成果：**本研究開発では、ヘルシー・カンパニーの概念に基づいた企業のより積極的な健康増進と生産性の向上を達成する次世代のヒューマン・リソース・マネジメント（HRM：Human Resource Management）システムとして高次HRMシステムの開発と実用化を行った。本研究の具体的な研究成果は以下の通りである。

- ・従業員が自身で健康管理を行うための健康増進サブシステム
- ・セマンティックWeb技術の利用によって、数々の健康情報から健康状態を推定するオントロジと推論体系、および従業員の健康状態を機械的に管理する知的ソフトウェアシステム
- ・上記研究成果とHRMシステムを統合した高次HRMシステムの開発と評価実験

実験結果では被験者の3割に健康状態の改善が確認されており、一定の効果が確認されている。また有休取得日数や福利厚生面で生産性の向上が確認されており、高次HRMシステムが生産性の向上に有効であることを示している。高次HRMシステムは実証実験の評価結果に基づいて改良されており、最終的には実用化可能なシステムとなっている。

**研究成果説明図：** 潜在的な健康リスクの可視化  
ストレス耐性の強い人材の育成

